

平成 28 年度 ケアハウス 事業計画

【運営方針】

少しでも 長く元気で 自分らしい生活を

【年間目標】

- 1) 自立支援
- 2) 介護・医療・家族との連携
- 3) サービスの質の向上
- 4) 職員育成・環境整備
- 5) 安定した稼働

【実践計画】

1) 自立支援

個人の能力を見極め、生活する上で必要な援助を提案していく。

[食事]

入居者の意見を参考に、月/1回食事委員会で検討。

季節、風習を感じて頂けるメニューの提案。

松花堂弁当 月/2回実施。

嚥下状態を観察しながら 軟菜食等、食事形態を検討。

行事のテーマに沿った食事・デザートを提供。

[排泄]

きめ細やかな排泄援助、個人の尊厳、プライバシーに配慮する。

個人の残存能力に合わせた援助を行う。

[入浴]

毎日実施。安全に気持ち良く入浴して頂く。

血圧変動、気分不良、転倒等身体状況に十分注意を払う。

[機能訓練]

自立支援を念頭におき、介護予防、現状の維持へと導いていく。

午前中・昼食前等、嚥下体操・集団リハビリを実施する。

[リハビリ]

機能訓練士を中心に実施。

医師・看護師・介護士と連携。

個別対応リハビリ計画を実施していく。

[口腔ケアの推進]

咀嚼の向上と維持、誤嚥性肺炎の防止。
歯科医、歯科衛生士との連携をはかる。

[レクリエーション、クラブ活動]

頭と体を使うレクリエーション・カラオケを中心に取り入れる。
リフレッシュも兼ねて散歩、朝のラジオ体操を実施。
クラブ活動は趣味を活かし、様々なものを取り入れる。
安全に楽しんで頂き体調の維持に繋げていく。

[ボランティアの受け入れ]

華道・書道・は引き続き実施。(月/1回)
単発で受け入れも随時導入していく。

[買い物]

毎週2回の買い物便、買い物代行実施。(月・木)
一人では外出不可の方への付き添い援助も定期的に行う。

[外出・外食行事]

初詣、花見など外出行事の実施。また定期的に外食行事を実施する。
入居者の希望等を伺い計画の実行へと繋げていく。

[洗濯物・配茶]

どちらも自分で出来る範囲はして頂き、状態を見極め援助する。

[受診送迎・付き添い]

神戸市内限定で引き続き、有料で実施する。
入居者の精神身体状態によって付き添いを行う。

[送迎]

今後も無料シャトルを継続し、1人で外出可能な方は利用して頂く。

[衣料販売]

1回/3ヶ月の割合で実施する。

[お知らせについて]

1ヶ月に1回発行、情報提供・皆様へのお知らせ等を提案する。

[意見交換の場の提供]

皆様の声やアンケートなどを基にし、年1回懇親会の実施。

2) 介護・医療・家族との連携

生活状況・身体状況等、介護・医療間での共有をはかり、連携をより密に行う。

3) サービスの質の向上

入居者のニーズをしっかりと把握、日々の生活に良質なサービスを提供する。

事故・ヒヤリハットを検証、見通し、原因を把握し、事故防止に努める。

4) 職員育成・環境整備

- ・業務の基本をまず習得する
- ・専門職としての誇りを持って臨む
- ・職員全員が援助者であると認識して仕事に取り組む
- ・相手の立場に立ち、物事をとらえる
- ・リスクマネジメントの意識
- ・毎月、職員会議を実施し問題点、課題を検討。業務改善を行う事で職場環境の整備を行う。
- ・施設備品、水光熱節約の意識

5) 安定した稼働

- ・早期発見、入院者を減らす
- ・早期入居希望者へのアプローチをし、スムーズな入居をめざす
- ・常に質の高いサービス提供